



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 春弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員 (氏名)小田 民雄 (TEL) 06(6920)3605
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,575	△45.1	1,268	75.3	1,223	6.3	765	△7.5
26年3月期第1四半期	17,457	△6.2	723	△72.9	1,151	△47.9	828	△37.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 442百万円(△76.5%) 26年3月期第1四半期 1,881百万円(467.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13 62	—
26年3月期第1四半期	14 58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	89,960	63,185	70.2
26年3月期	96,611	63,875	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 63,185百万円 26年3月期 63,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15 00	—	25 00	40 00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		15 00	—	25 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△21.7	10,500	1.9	10,200	△6.8	6,600	91.6	117 37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	67,723,244株	26年3月期	67,723,244株
27年3月期1Q	11,490,468株	26年3月期	11,490,124株
27年3月期1Q	56,233,023株	26年3月期1Q	56,808,765株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当業界は家庭用ゲーム市場において、国内は軟調に推移いたしましたものの、スマートフォン（高性能携帯電話）を主体としたソーシャルゲーム市場の勢力拡大に加え、堅調な海外市場により全体の市場規模は増大いたしました。

こうした状況下、当社はモバイルコンテンツ部門等の売上原価の低減や販売費および一般管理費の抑制に努めるなど、収益改善策を推し進めてまいりました。

また、イタリアの二輪メーカーであるドゥカティジャパン株式会社がモンスターハンターをイメージした大型二輪車の発売を発表したほか、同じく株式会社ユニクロがTシャツを発売するなど、ワンコンテンツ・マルチユース展開を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高95億75百万円（前年同期比45.1%減）となりました。利益面につきましては、営業利益12億68百万円（前年同期比75.3%増）、経常利益12億23百万円（前年同期比6.3%増）、四半期純利益7億65百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① デジタルコンテンツ事業

当事業におきましては、「逆転裁判123 成歩堂セレクション」（ニンテンドー3DS用）が底堅い売行きを示したほか、前期にミリオンセラーを達成した「デッドライジング3」（Xbox One用）も堅調に推移しましたものの、目玉タイトル不在の商戦を余儀なくされました。

他方、オンラインゲームの「モンスターハンター フロンティア GG」（パソコン、Xbox 360、プレイステーション3、Wii U用）は健闘いたしました。

また、モバイルコンテンツは「モンスターハンターポータブル2nd G for iOS」が順調に展開したほか、採算性も改善いたしました。

しかしながら、当該期間のラインナップは有力ソフトの不足により、小型タイトルやリピート販売が大半を占めましたため、総じて軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は55億6百万円（前年同期比55.8%減）と減収になりましたが、営業利益につきましては、コスト削減などにより11億31百万円（前年同期比167.6%増）となりました。

② アミューズメント施設事業

当事業におきましては、市況軟化のもと、集客イベントの開催や多様な顧客に対応したゲーム機の設置など、地域密着型の施設展開に努めてまいりました。

しかしながら、既存店の伸び悩みに加え、消費税増税の影響などもあって、弱含みに推移いたしました。

当該期間の出退店はありませんでしたので、施設数は前期末と同じく33店舗であります。

この結果、売上高は22億円（前年同期比11.4%減）、営業利益2億14百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

③ アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、商品の供給サイクルが端境期となりましたため、新機種投入はなく、リピート販売や受託ビジネス中心の事業展開となりました。

業務用機器部門につきましても同じく既存商品主体の販売となるなど、両部門共に商材が不足しましたものの、計画を上回ることができました。

この結果、売上高は14億98百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益6億27百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は3億69百万円（前年同期比22.3%減）、営業利益1億77百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ66億50百万円減少し899億60百万円となりました。主な増加は、「ゲームソフト仕掛品」26億78百万円であり、主な減少は、「受取手形及び売掛金」95億31百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ59億60百万円減少し267億74百万円となりました。主な増加は、「短期借入金」39億67百万円であり、主な減少は、「支払手形及び買掛金」34億37百万円、「電子記録債務」39億70百万円、「賞与引当金」7億54百万円および「未払法人税等」4億17百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億90百万円減少し631億85百万円となりました。主な増加は、「四半期純利益」7億65百万円であり、主な減少は、「剰余金の配当」14億5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が423百万円減少し、利益剰余金が273百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,720	28,588
受取手形及び売掛金	18,134	8,603
商品及び製品	1,191	1,239
仕掛品	942	1,505
原材料及び貯蔵品	996	1,024
ゲームソフト仕掛品	10,355	13,034
その他	5,220	6,171
貸倒引当金	△55	△50
流動資産合計	66,506	60,116
固定資産		
有形固定資産	13,577	13,412
無形固定資産		
のれん	67	43
その他	7,300	8,510
無形固定資産合計	7,368	8,553
投資その他の資産		
その他	9,236	7,953
貸倒引当金	△77	△76
投資その他の資産合計	9,159	7,876
固定資産合計	30,104	29,843
資産合計	96,611	89,960
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,950	1,513
電子記録債務	6,926	2,955
短期借入金	4,050	8,017
未払法人税等	758	341
賞与引当金	1,802	1,047
返品調整引当金	87	44
その他	6,971	5,856
流動負債合計	25,547	19,776
固定負債		
長期借入金	3,000	3,207
退職給付に係る負債	2,158	1,768
その他	2,029	2,021
固定負債合計	7,187	6,997
負債合計	32,735	26,774

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	29,160	28,793
自己株式	△18,134	△18,135
株主資本合計	65,593	65,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	128
為替換算調整勘定	△1,647	△2,004
退職給付に係る調整累計額	△169	△163
その他の包括利益累計額合計	△1,717	△2,040
純資産合計	63,875	63,185
負債純資産合計	96,611	89,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	17,457	9,575
売上原価	11,940	5,249
売上総利益	5,517	4,326
返品調整引当金戻入額	73	42
差引売上総利益	5,590	4,368
販売費及び一般管理費	4,867	3,100
営業利益	723	1,268
営業外収益		
受取利息	22	25
受取配当金	5	6
為替差益	436	5
その他	15	49
営業外収益合計	479	86
営業外費用		
支払利息	28	19
支払手数料	14	22
店舗閉鎖損失	—	79
その他	9	9
営業外費用合計	52	130
経常利益	1,151	1,223
特別損失		
固定資産除売却損	38	2
特別損失合計	38	2
税金等調整前四半期純利益	1,112	1,221
法人税、住民税及び事業税	182	240
法人税等調整額	101	215
法人税等合計	283	455
少数株主損益調整前四半期純利益	828	765
四半期純利益	828	765

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	828	765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	28
為替換算調整勘定	1,043	△357
退職給付に係る調整額	—	5
その他の包括利益合計	1,052	△322
四半期包括利益	1,881	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,881	442
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,112	1,221
減価償却費	970	724
のれん償却額	33	33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△611	△750
受取利息及び受取配当金	△27	△32
支払利息	28	19
為替差損益(△は益)	△259	37
固定資産除売却損益(△は益)	38	2
売上債権の増減額(△は増加)	4,667	9,529
たな卸資産の増減額(△は増加)	260	△642
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	560	△2,716
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,504	△7,402
その他	△2,497	△2,453
小計	1,766	△2,433
利息及び配当金の受取額	29	55
利息の支払額	△29	△20
法人税等の支払額	△1,836	△587
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70	△2,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,473	-
有形固定資産の取得による支出	△488	△377
有形固定資産の売却による収入	-	205
無形固定資産の取得による支出	△222	△145
その他	23	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,160	△412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	3,900
長期借入れによる収入	-	292
長期借入金の返済による支出	△1	△16
自己株式の取得による支出	△2,282	△0
配当金の支払額	△1,440	△1,406
その他	△97	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,820	2,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,330	△356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,720	△1,077
現金及び現金同等物の期首残高	31,522	26,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,801	25,040

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,454	2,484	2,042	16,981	476	17,457	—	17,457
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,454	2,484	2,042	16,981	476	17,457	—	17,457
セグメント損益	423	366	659	1,449	224	1,673	△949	723

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△949百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△949百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,506	2,200	1,498	9,205	369	9,575	—	9,575
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,506	2,200	1,498	9,205	369	9,575	—	9,575
セグメント損益	1,131	214	627	1,974	177	2,151	△883	1,268

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△883百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△883百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。